



# 『覚・求・徹』

～ 校長室 だより ～

令和 8 年 4 月 9 日 (木)

第 1 号

葛 城 市 立 白 鳳 中 学 校

校 長 中 川 順 一

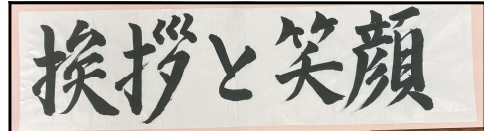


白鳳中学校に赴任し、4年目となります校長の中川順一です。初心を忘れず、今も新鮮な気持ちでいっぱいです。校長室だよりを通して校長室からうかがえる学校の姿をお伝えできればと思います。タイトルは本校の校訓から一文字ずつとり『覚・求・徹』としました。白鳳中学校の生徒がこの校訓を常に心に刻み、学校生活を充実したものにしていってくださることを願い、タイトルとしています。

## 令和 8 年度白鳳中学校の新たな教育活動がスタート！

新 2、3 年生だけの 4 / 6 の着任式と始業式。まずは新しく着任いただいた先生方の紹介、そして、始業式。始業式では、私から目指す学校像である『居心地の良い学校』にするために「挨拶と笑顔」を大切にしたいと話しました。卒業生に送った短歌の作者、俵万智さんの短歌を紹介しました。「なんでもない会話 なんでもない笑顔 なんでもないからふるさとが好き」これを白鳳中学校と重ねていき、笑顔をふやしていきたい。「挨拶」の「挨」は自分の心をひらく、「拶」は相手の心に優しく近づき、「笑顔」を引き出すという意味です。

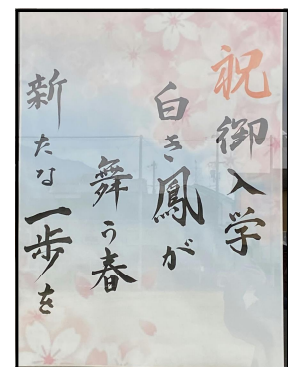
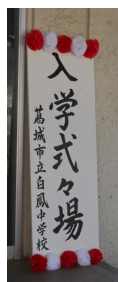
また、「本気でやってみよう」というお話もしました。ある国の村人と門番との問答から結局、未来を決めるのは自分自身であるということです。このお話から過去と未来をつなぐ今、年度の初め期待と不安を抱く人が多い中、自分はどうかありたいのか、自分はどうかしたいのか、どんなことも周りや環境や他人のせいにならずに「自分が本気になって楽しくやろう」そんな思いを大切にしてもらいたい。



4 / 8、晴れの入学式。新入生 146 名を迎え、緊張感の中にも「やる気」と「希望」に満ちた姿で点呼にも大きな返事で答えてくれました。新入生のみなさんには、今年 6 月に開催されるサッカーワールドカップから日本代表が掲げる「リスペクト宣言」についてお話しました。「リスペクト宣言」とは常に全力を尽くすことをフェアプレーの原点とし、仲間、対戦相手、指導者、施設、サポーター等サッカーを取り巻くあらゆる



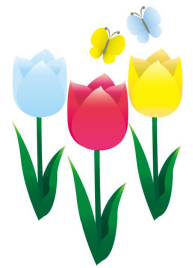
ものを大切に思うことという理念です。私たち白鳳中学校も今年度、「人権を大切にしたなかまづくり」という大きなテーマのもと教育活動をすすめてまいります。白鳳中学校の仲間、先生、保護者、地域の方々、施設等私たちを取り巻く全ての「大切に思う心」を育ていきたいと考えています。本校の校訓「覚めよ・求めよ・徹せよ」をしっかりと胸に刻み、これから始まる中学校生活を私たちと一緒に素晴らしいものにし「フェアで誇れる」白鳳中学校を目指していければと思います。



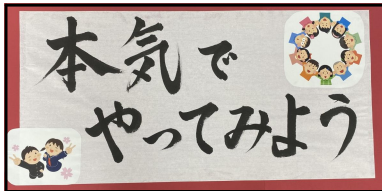
→「雄飛」の碑の前の桜も満開です！



→昨春秋に羽根康英地域コーディネータから指導を受けながら環境美化委員が植えた中庭の花々も満開です。



始業式で2, 3年生のみなさんに紹介した俵万智さんの短歌です。↓

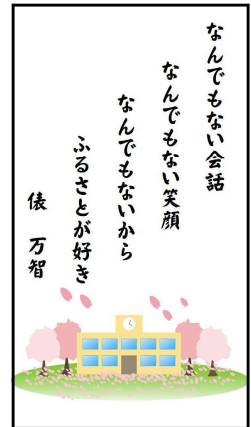


### 「本気でやってみよう」

ある国のことですが、その国にはいくつかの村があり、それぞれの村人たちが村を行き来しながら暮らしてる。ある村の入り口には門番がいて、他の村から来た旅人は必ずそこを通らなければならない決まりがあります。旅人が「ここはどんな村ですか」と尋ねました。すると門番は、「そうですねえ、あなたが今までいた村はどんな村でしたか。」と聞き返します。旅人が「私の村は、ひどい村でした」と答えました。すると門番は、「ここもたぶん同じような村だと思っ

たよ。」と答えました。また別の旅人が、「ここはどんな所ですか」と聞きます。門番は「そうですねえ、あなたが今までいた所は、どんな所でしたか」と聞き返します。するとその旅人は「私がいた所は、とても素敵な所でしたよ。」と答えます。門番は「ここもたぶん同じような所だと思っ

たよ。」と答えました。どんな村にしてしまうか、どんな所になるか。それは過去と未来をどうつなぐのかということです。その節目が今です。年度の初め、そんな気持ちになっている人も多いのではないですか。でも、自分はどうありたいのか、自分はどうしたいのか。どんなことも周りの環境や他人のせいにならず、「自分が本気になって楽しくやってやろう！」そんな思いを大切にしてほしい。



### 當麻寺練供養会式(4月14日)

4月14日は中将姫の命日に中将姫が生きのまま極楽浄土に迎えられた現身往生を再現したものです。練供養式では西方極楽浄土を象徴する本堂(曼荼羅堂)と俗世間を象徴する娑婆堂を観音菩薩などが往復します。

昨年、国の重要無形民俗文化財に指定されました。1,000年以上続く葛城市の伝統行事です。



### 第76回創立記念日(4月22日)

昭和24(1949)年當麻中学校と磐城中学校の両校が合併し、白鳳中学校が設立されました。当初の校舎は、竹内(現総合体育館)に建築されていましたが、昭和48年度には現在の校舎が新築され、旧校舎にあった校訓碑も、現在の場所(正門内左側)に移されました。

磐城・當麻の両中学校が合併したとき、校名を各方面から募集し、「白鳳中学校」と決まりました。當麻町の歴史的遺産である當麻寺が、白鳳時代に造営され、「當麻町は白鳳文化の郷」と言われたことに由来します。

白鳳中学校の名称から、「鳳凰」がシンボルとして校章及び校旗に使用されています。鳳凰は、中国でめでたいときに現れる鳥だと言われています。

### 保護者のみなさま

保護者のみなさまや地域の方々には本校へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。本校が、生徒を中心として、教職員、保護者、地域の方々とともに**チーム「白鳳中学校」**として前進していければと願っております。また、学校ホームページにおいても各種通信や学校の様子をお伝えしていきますのでご覧ください。

### 最終下校時間の変更

令和8年度より

最終下校時間

通年 17:30